

公表

児童発達支援評価表(従業者)

事業所名:

児童発達支援・放課後等デイサービスつむぎ

回答率:

100%

公表日:2025年3月10日

	チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8		・個別支援用の部屋を設置しています。 ・活動によっては別の部屋を使用することもでき、十分なスペースを確保しています。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8		・基準を満たした人員配置でおこなっています。 ・マンツーマンの療育をしているため、お子さんそれぞれにあわせた活動プログラムを実施できています。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8		・絵カードや写真を用いて、わかりやすく活動プログラムを提示しています。 ・建物内はバリアフリー化されていますが、2階へあがるためのエレベーターは設置していません。2階での活動を1階に変更する等の配慮をしています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8		・こまめな掃除、設備の不具合等の点検は毎日おこなっています。 ・エアコンや換気扇等、日常的に掃除しにくい部分は子どもたちのいない時間に定期的におこなっています。
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8		・つむぎでの療育は個別でおこなっているため、基本は個別療育室でおこなっています。 ・活動プログラムの内容やお楽しみの時間には希望を聞きながら別の部屋を使用する場合があります。
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6	2	・パート職員も含めてミーティング出来る時間を増やせるようにしていきたいです。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		・保護者向け評価実施後、職員で共有し必要に応じて改善に努めています。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		・その都度、話し合う機会を設けています。 ・年に一回はパート職員を含めた職員全体会議をおこない、意見を共有しています。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	2	・年に一度、第三者委員会による外部評価をおこなっています。 ・評価の結果をしっかりと職員間で共有し、把握して行けるように努めます。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8		・必要な研修に参加しています。 ・法人内研修や研修動画の視聴をおこなって、全職員が研修に参加できるように工夫しています。
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8		・法人ホームページや施設内掲示板で公表しています。
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	8		・日々の様子をしっかりと観察し、職員で話しをしながらお子様に合わせた個別支援計画の作成をしています。 ・ご家族との面談をおこない、ニーズや課題の把握に努めています。
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8		・作成前に支援計画作成会議をおこない、児童の状況やご家族からの情報をふまえ、話し合いながら支援計画書の作成をしています。
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8		・支援計画ができあがったら職員全体で共有し、支援計画に沿った活動プログラムを設定するように心がけています。 ・新しい情報や変更点は、その都度共有して必要に応じて話し合いの時間を設けています。

	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8		・既存のアセスメントシートに加え、日々の支援の中で感じた点を定期的に職員で話し合うことが出来ています。
適切な支援の提供	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8		・職員間で話し合いをおこない、必要な項目を考えたらうで支援内容を設定しています。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	3	5	・児童発達支援においては直接支援をする職員が固定されているため、特定の職員が立案している状況です。 ・支援を他職員にも見てもらい、様々な視点からプログラムの立案をできるようになると良いと思います。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	1	・つむぎでの活動を定着させるため、大まかな流れは固定させています。 ・課題1つ1つは、飽きないようにいろいろな教材や活動を取り入れています。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7	1	・基本的には個別で療育をおこなっていますが、イベント開催時は集団での活動も場合もあります。どちらも個別支援計画に沿った支援をおこなっています。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	3	・支援の内容に関しては特定の職員が一人でおこなっているため確認等ないが、送迎などの役割分担はその都度、確認しながらおこなっています。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	1	・職員間で支援の振り返りや情報共有をおこなっています。 ・必要に応じて職員会議等で対応を検討し、実施しています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8		・利用の様子は細かく記録に残し、職員全員で共有できるようにしています。 ・記録は会議や作成会議の際にも活用しています。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8		・計画期間に合わせモニタリング、検討会議を実施しています。 ・変化があったときには臨時で会議をおこない、ふさわしい対応が出来るようにしています。
	関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8	
25		地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	1	・関係機関との連携を取っています。 ・卒園時には入学予定の小学校とも連携を取れるようにしています。
26		併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8		・保育園等に訪問し、担任や主任、園長と情報共有をおこない、お子様とのかかわり方などの相互理解を図っています。
27		就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8		・保育園、小学校の引継ぎ会議に参加し、支援内容等の情報共有と相互理解に努めています。
28		(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。			
29		質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外泊研修に参加させているか。			
30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				

関係機関や保護者との連携	31	(31は、事業所のみ回答)	3	5	・連携を取っているが、児童発達支援センターについての情報が職員に周知されていないため、今後はしっかりと職員間で情報共有していきます。
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。			
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	6	1	・つむぎまつりなど、外部のお子さんにも参加して頂けるようなイベントを計画、実施しています。 ・日常の活動の中に交流を取り入れることは時間調整などが難しく、困難だと感じます。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8		・月に一度、面談の時間を設け支援の振り返りや保育園、家庭でのことなどの情報共有をする時間を設けています。
保護者への説明等	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	1	・家族に対する研修は設けていないが外部の研修や講演会の情報をお伝えしています。 ・家庭での様子を聞き、つむぎでの様子をあわせて助言させていただいています。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8		・契約時に説明をおこなっています。 ・不明な点があればいつもお声がけください。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	1	・契約における面談などで意向についてお話を聞くようにしています。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	8		・支援計画の内容を説明し、一緒に確認してから了承を得たうえでサインをいただいています。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8		・振り返りの時間だけでなく、保護者の方からのご希望時に面談の対応をできるようにしています。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	7	1	・保護者会や懇親会を定期的におこない、保護者同士で交流できる場を設けています。皆さんご参加ありがとうございます。 ・今年度、きょうだい会はおこなえませんでした。きょうだい児も参加できるイベントを開催しています。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8		・相談や申し入れをいただいた際には、事実をしっかりと確認したうえで迅速に対応させていただいています。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8		・つむぎだよりやInstagram、LINE等で日々の様子や活動を発信しています。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8		・個別のファイルは鍵付きのロッカーに保管しています。 ・外部の方の目に入るようなチラシや広報誌の写真、動画は保護者の同意があった場合のみ使用しています。 ・契約時に説明し、さらにできあがったものも確認していただき了承をいただいています。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8		・保護者の皆様とのやり取りはLINEや電話を活用して連絡を取っています。 ・イベント等の告知は子どもたちにもわかりやすいイベントチラシを配布することで情報をわかりやすくお伝えしています。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	8		・周年祭(つむぎまつり)では施設を開放し、地域の方につむぎのことを知ってもらえるようにしています。 ・イベント時には地域の方に講師をしていただく機会もあり、地域に開かれた自事業所になるよう工夫しています。
非常	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8		・マニュアルの策定や訓練をおこなっています。 ・感染症対策についてのお知らせ等、変更があった際には書面にて保護者の皆様にお渡ししています。

時 等 の 対 応	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8		<ul style="list-style-type: none"> ・業務継続計画の制定をしています。 ・業務継続計画をもとに机上訓練や研修をおこなっています。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	2	<ul style="list-style-type: none"> ・フェイスシートやアセスメントなどで確認しています。 ・服薬の変更があった際には、お伝えいただいています。
非 常 時 等 の 対 応	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	3	<ul style="list-style-type: none"> ・フェイスシートやアセスメント等で確認しています。 ・医師の指示が必要な場合には対応を検討させていただきます。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8		<ul style="list-style-type: none"> ・計画に基づいた訓練を実施しています。 ・施設設備や教材、玩具などの不具合が生じた場合はその都度、修理改善をおこなっています。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8		<ul style="list-style-type: none"> ・契約時に緊急時の対応の説明をおこない、緊急連絡先を記入した書類を提出していただいています。 ・家族への周知は不十分なところ路もあるため、今後は施設内掲示板やSNSにて周知できるよう、検討いたします。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8		<ul style="list-style-type: none"> ・速やかに報告書を作成し職員間で情報共有をおこない、再発防止のための検討会議をおこなっています。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8		<ul style="list-style-type: none"> ・年に一回、基幹センターの職員に来ていただき虐待に関する研修を実施し、パート職員を含め全職員で参加しています。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	8		<ul style="list-style-type: none"> ・飛び出しや危険行為が見られる場合に、保護者との話し合いのもと同意書を記入していただいています。 ・保護者の同意を得て、個別支援計画に記載しています。